



おしおき+スキュラニ
オニオキスキュラニ
おしおき+スキュラニ

妖狐変化スキュラ藍様おしおき丸呑み本

FOR
ADULTS
ONLY

おしおき・らんみあ

妖狐変化ラミア藍様丸呑み本











匂いを辿ってみれば
これはこれは...

え

だ
誰?

妖力はもちろん
年端もいかぬ こんな童子とは...

おい その少年
正直に 答えろ...

貴様
今日のうちの様
何をした...?

ひっ!?

とぼける気か
いい度胸だな
貴様...!

橙を泣かせた
だろう!!

全て解っている!!

そ、そんな!
僕やってな…

嘘を吐け!!



やはりお前から
橙の匂いがある……

うそつきには
お仕置きが
必要だなあ?







嘔吐きの仔ネズミを 舐けるなら
やはり 相応しい姿にならねばな？

知ッ...

お...

お姉さんは
いったい...

ひ？

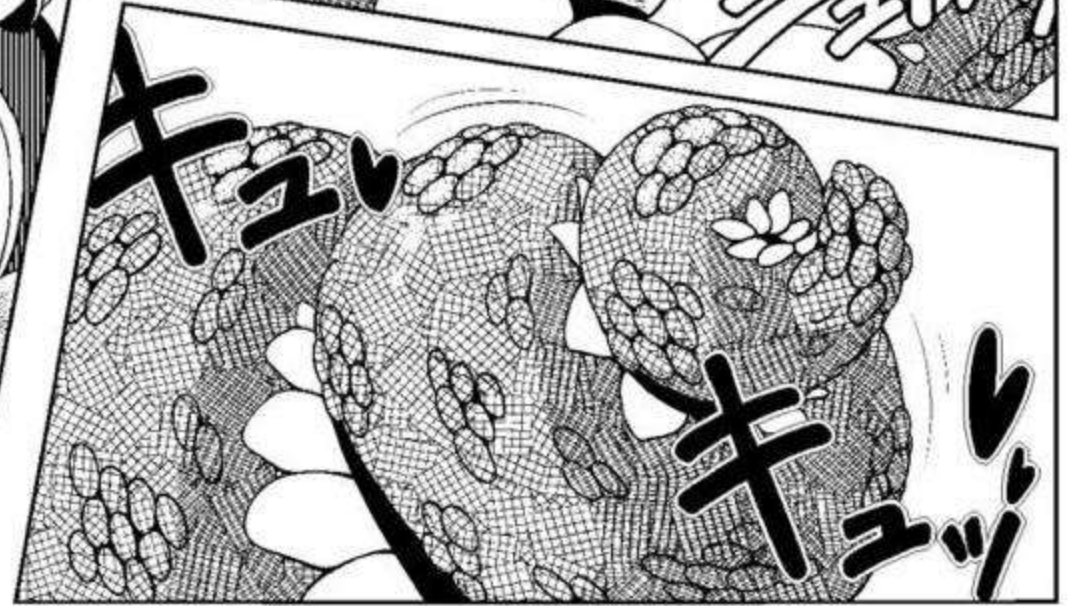
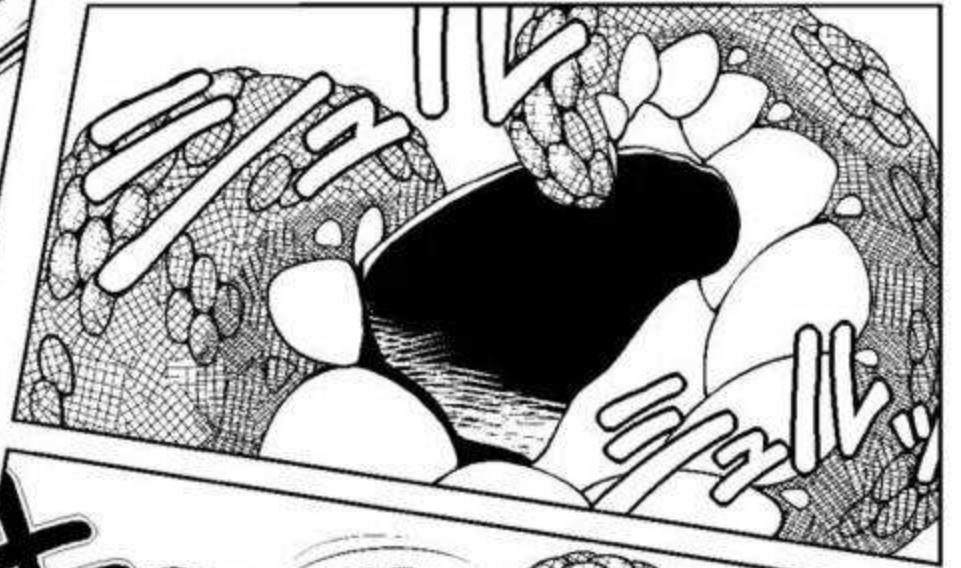
ニ
ユルル

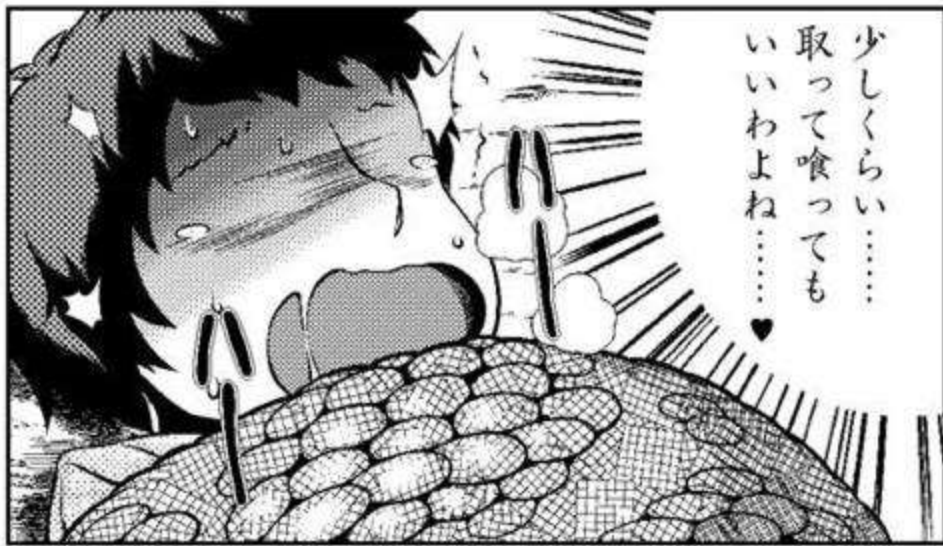
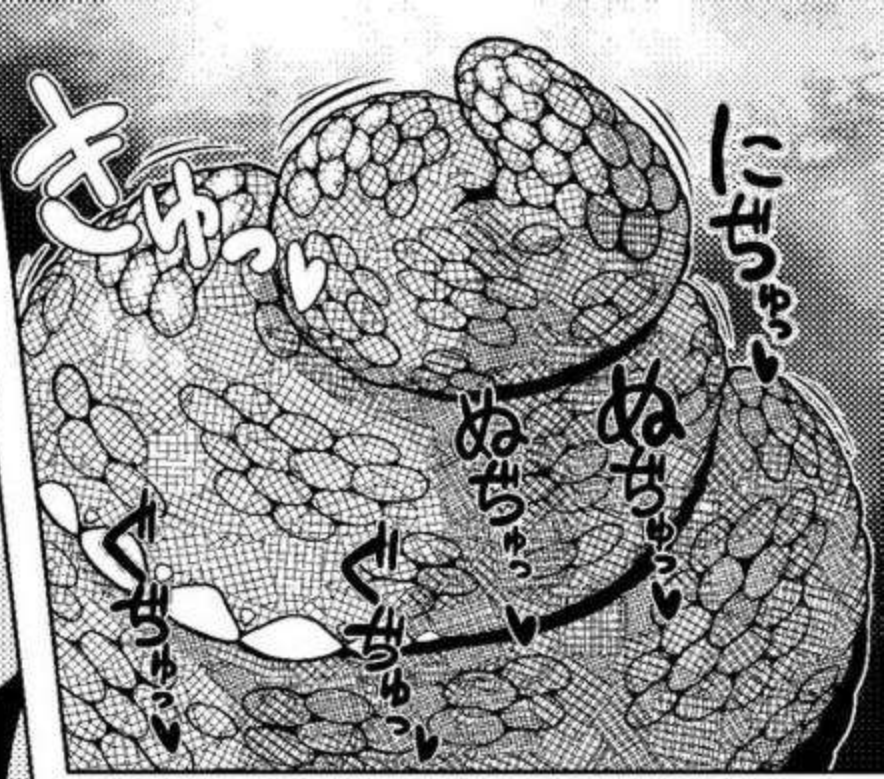
む

キーン

グッ



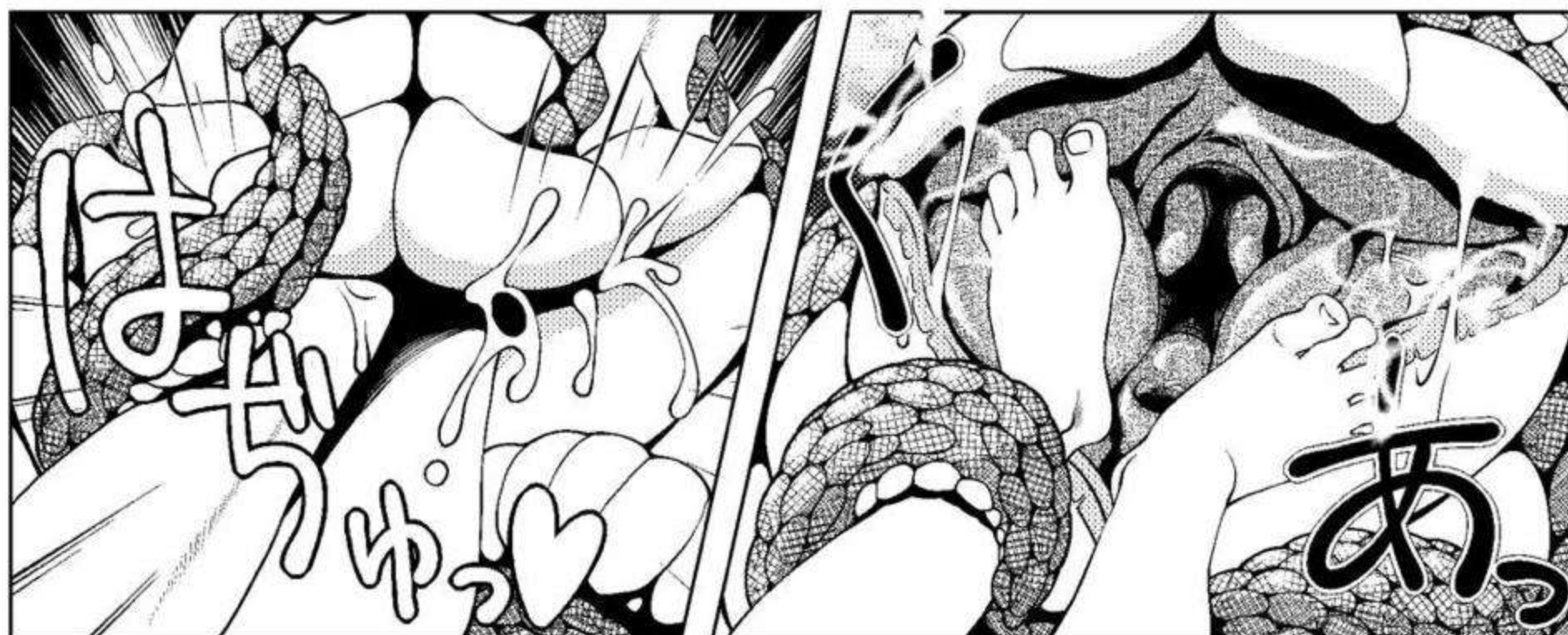
















いまさら謝ったって
もう許して
あげないわよ



服も肉も骨も妖力も
お前の反省の色のない
恥ずかしい一物も



ば

コ
メ
ニ
サ
イ
!!



私の胃袋の居心地はどう？
なにか粗末なものが
内側にあたってゐるわよ……？

聞く必要も
ないみたいね♡

お前はこんな状況にまでなっても
まだ勃起してるんだな……♡

それなのに吐き出してほしいのか？
もう無駄だってのに一生懸命に
暴れちゃってえ……♡

ちよつと
興奮しちゃうじゃない♡



いつまで頑張れるかしら？
ほーらどろどろの胃液で
もみくちゃにしてやるぞ♡

とろけたくなかったら
吐き出させてみる♡



まあ……
誠意は
認めてやるとするか

レロ オッ♡



んふ……♡
私の胃液と肉に揉まれて
イッてしまうなんて……

まったく
恥ずかしい奴だな……♡

ピク



ふふ……♡

トロ



溶けるように
眠りなさいな……♡

きゅ

きゅ

きゅ

きゅ







R-18 For Adult Only

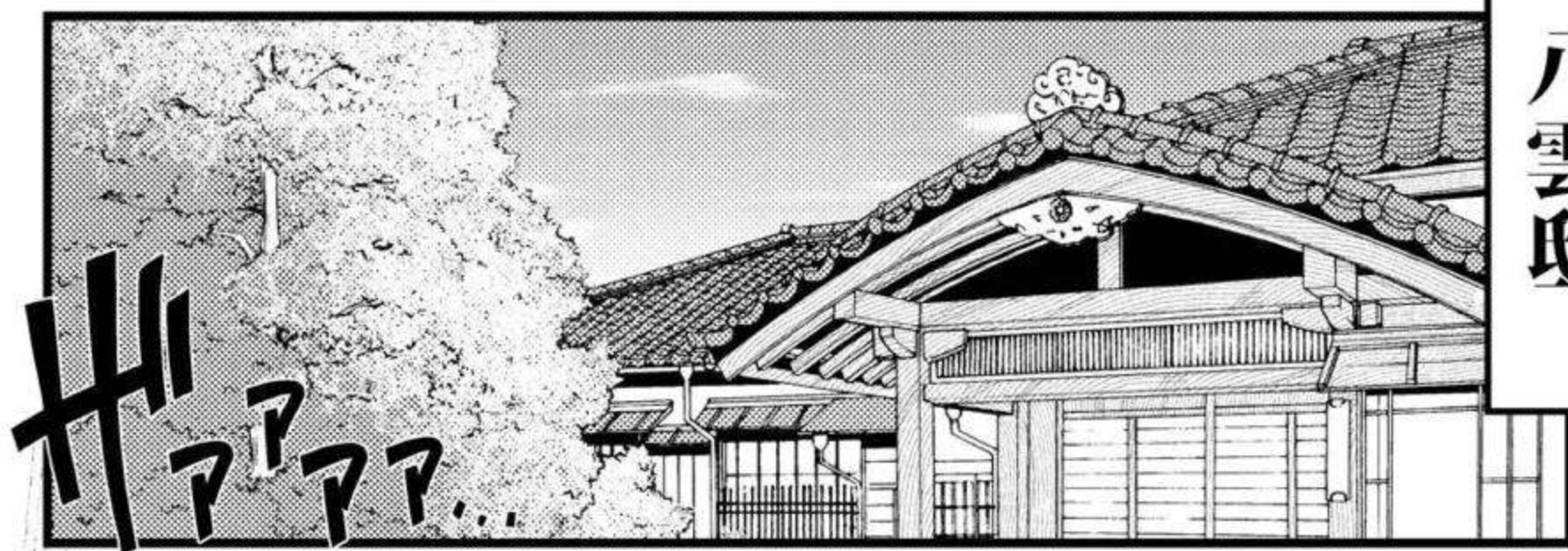
妖狐変化スキュラ藍様おしおき丸呑み本

妖狐変化スキュラ藍様おしおき丸呑み本

おしおき・すきん

妖狐変化スキュラ藍様丸呑み本

八雲邸



……良しっ



おい！
来客用の大皿持って
きてくれるかー？
また落とすなよー！

はいー！
ただいまー！

ト
ト
ト

うわ

ヤレ

あせ
あせ

あ……

あのっ……！
これはっ……！

はあ……
呆れて声も出んわ……

まさかとは思うが……
お前……



—ふむ……
前とは趣向を変えて
違う姿に見よう見まねで
化けては見たが……

ニユル。

ニユル。

ニユル。

—このような姿もまた
楽しいモノじゃあないか？
ええ小僧？

ニユル。

大蛇の姿も良かったが
この姿もなかなかじゃないか
九本も触腕があると
捕えるのも簡単だしな

しかし妖力の溜まった
尻尾を礎に変化させたせいか
少々統制が曖昧なのが
気になるが……まあよい

あう……

さて
この阿呆を
どうしたものか……♡

あわわわわ……

ん——？



これからするのは
お仕置きだと
言っているのに
お前は何故愉しげな声を
上げているんだ？

いやっ…！
あのっ…！



お前は血を割った
罪悪感もなく
ただ自分の欲望のままに
行動することしか
出来ないのか？

ひゅっ…ひゅっ…！



ふふっ……♡
これまたいい声で
鳴くじゃあないか……
しかしやけに体が疼くのは
この姿のせいかな？



うあっ…！

う……はあっ……！

み…

うむ……
お前がこんな調子では
どんなに厳しい
仕置きだろうが
意味がないな

はあ……はあ……

これは一つ
お灸をすえる前に
お前の色情を
晴らしてやらんとなるまい？
そうだろう？

なっ！何を……！

お前は黙っている……
お前が止めてと
泣き叫んでも止めてはやらん

すこしつまむくらい……な♡
味見、味見……♡

お前の情欲が根切れるまで
抜き取って
搾り取ってやろう♡

キーン♡



ふああああっ！

どうだ？
ふわふわさらさらと
心地よいか……？

ニヤ

さわっ

何…っ？
何これえっ…！



万年磨き上げた自慢の毛並だ
そんじよそこらの
半獣妖怪ごときの毛並とは
格が違うだろう？

そして絡みつく柔軟な筋肉による
先の読めない責苦の合わせ技だ……
そう味わえるものではない
良かったじゃないか、小僧？

この程度で果ててしまうと
後がつらいぞ？

そつそんなこと
言つたつてええええ

はは
つ
つ
!?

まっ

まって！待ってえっ！

まず1発♡

うっあっうっ……!!



な…なんでやめて
くれないのおおお!

言っただろうが
泣き叫んでも
やめてやらないと……

あふっ……!

んあっ!

お前の情欲が
根気れるまで
抜き取ってやると

んぎっ!

あっあっ!



ほーれほーれ
まだ出るだろうが

まだまだ
残っているようだぞ?

ひいっ!



もうだっ!
もうだっ!

む

ふふ…

これで間違いなく
出し尽くしたなあ…♡

甘露甘露♡

さて…
お前の劣情も
晴れたことだし

これでようやく
悔悛の情に
心を打ちこめるな？

とちや

く…く…く…



その部屋はな、
視界など一切効かぬ
真っ暗な場所
酷く酸っぱい匂いが
充満し……

むせ返る熱気と湿度……
火傷しそうなほど熱い粘液が
吹き出し、込み上げ、
全身に絡み付いてくるぞ

いくら出せと泣き叫んでも 外に声は届かん
お前の耳にはずるずる、にちゃにちゃと体をこする
粘ついた音が響く、ただそれだけだ

そんなことは気にも留めず
部屋は意志を持ったように流動し
お前の意志などお構いなしに
体を弄び、全身を締め上げるだろう

もがこうが、喘ぎが
何をしようが
動きが緩むことはないぞ

まあ……
そんな場所だな…♡

そ…それって……

かじ





そうだ♡

私の体内でもがき苦しみながらしっかり反省しろ♡

シューッ
シューッ

びる
びる

あ...あ...あ...





おいおい、
引き裂いてしまっ
ては
仕置きにならんぞ
どっちから呑み込
んでも同じだ
ホレ、どちらか
が折れる





さる

ぶあつ……！
はッ……はッ……！

あらあら……ふふ……
まだ入り口だというのに
ずいぶん堪えている
ようじゃないか？

づつ……！はあつ……！

そんな調子では
これから……

もっ……もうつ……！
お皿は割りませんからっ！
悪いことも二度と
しませんっ！

だからっ……

だからっ！
食べないでくださいっ……！



ぐもっ……

……



だーめ♡



やだ

やだあ……

スル

クワッ

だがしかし
反省の色を
見せるのは良い兆候だ

焦って必死になっちゃって…♡
可愛げあるじゃない♡

ほれもつと声をはれ
全然外に聞こえんぞー♡

ん？
なにか言ったかあ？
全く聞こえんなあ♡
これじゃあ永久に♡
外に出してやれそうに
ないじゃないか♡

おや？
今度はだんまりか？

ナカでびくびく
震えおって……
ほーら
さっさと続けなにか

閉じ込めておく、とだけ
先ほどは言ったが
反省の色が見え無いようなら
すぐにもみくちゃに揉みほぐして
粥みたいに溶かしてしまうぞ♡

ほらっ！
もつとだッ……！
泣き叫べ！

全身をつかってっ
暴れてみせろ……！
んふっ♡

そうだっ……んっ……♡
イイぞお……！
お前もやれば……はっ……♡
できるじゃあないか？

あはあっ♡

これっ……♡
ならっ……はあっ……♡

出してやること……もっ♡
考えて……んう♡……やってもっ……
いいかもなあっ……♡はあっ♡

ナカで暴れて……
擦れて……♡
癖になりそう……♡

モッ

モッ

カッ

きゅむっ♡

きゅむっ♡

きゅむっ♡

ゆっ

おいっ！
……はあっ♡
どうしたあっっ！？

どうしたあつっ！？
諦めたのかっ？ええ？
もう限界かっ？…ふっ♡
だらしなないぞっ！
それでも男の子だろう？

それともなんだっ？…っ♡
 本当は溶かされたいのかっ！？
 私の体内でえっ♡熱い胃液とっ♡
 無理やりっ♡♡…はっ♡
 ぬちやぬちやに…っ♡
 混ぜられてっ♡

文字どおりっ♡
お前の体とおっ♡…っ♡
私の体^ナ内^カとの境界があっ♡
はあっ♡……っ♡

解らないほどっ♡♡

境界があつ... いほどっ

とろろのちよんぱん
おかわり

なんだっ?…っ♡
 されたいのかっ!?
 えっ♡熱い胃液とっ♡
 りっ♡♡…はっ♡
 やぬちゃに…っ♡
 混ぜられてっ♡



はあっ……
はっ……はっ……
はっ……フフ……♡

お前を溶かすのは……
努力に免じて……はあっ……
勘弁してやろう……♡

だがな……ふうっ……
ここから出してやるとは
言っとらんぞ？
まだ到底お前が反省したとは思えんからな♡

しっかり自分の行いを
悔いるまでは
1夜でも1週間でも
1年でも……フフ……♡

たとえ私が
この姿から元に戻ったとしても
お前を小指ほどに変えて
そのまま腹の中で弄り続けてやる♡

私が許すまで
永久に腹の中で
もがき続けている……♡

キ
ゃ
る

キ
ゃ
る

あとがき

OSHIROSKI・SCYLEON

こんにちは、お久しぶりです。もしくは初めまして。ざわです。

この度は妖狐変化スキュラ藍様丸呑み本おしおきすきゅらんを手に取っていただきありがとうございます。ございました。

今作で妖狐変化人外藍様おしおき丸呑みシリーズは二作目になりました。

スキュラ藍様は前作のラミア藍様本のプロット当時からあった変化のうちの一つになります。

イメージはザ・グリンドのあのモンスターです。藍様には立派な尻尾が9本もあり

そこに触手を加えるとなるとなかなか兼ね合いが難しく、どちらもそれぞれ

失うには惜しい要素があり、悩んだ挙句、今作の姿に落ち着いた訳ですが、

如何でしたでしょうか。楽しんでいただけた様であれば幸いです。

また、今作に登場している少年は前作と同じ少年です。

実は1作目の最後に溶かされてしまっており、流石にまずいと思って妖力ちよっぴり分けて

どうにか魂つなげて現世に存在しているが、あまり藍様から離れると消滅するとかで

仕方なく八雲邸で飼ってるとかそういう設定も考えていました

があんまり気にしないでください。次の本は……どうしましょう。

人外藍様丸呑み合同誌とかやりたいですね……！

一体参加者は何人集まってくれるのかといった問題は山積みですけれどもね！

どうなるのかまだ分かりませんがまた次の本でお会いできたら嬉しいです。では！

YAMADA AIR BASE ぢわ

メも作らず
何とるかマァ！

ふうっ……はて……？
そういえば私は先程まで
何をしていたんだっただか……？

あ……

SPECIAL THANKS

ゆからんのすけ様 いくたたかのん様 むむむ様
まろー様 そして読んでくださった皆様

ありがとうございました！



PIXIVへは
こちらでアクセス！



<http://www.pixiv.net/member.php?id=4111038>
更新頻度は低めですが描いたものはこちらに纏めています。
ご感想、コメントお待ちしております。

おしおき・すきらん

妖狐変化スキュラ藍様丸呑み本

発行 2016年 12月 29日 コミックマーケット91 [第1刷発行]

著者 ざわ

サークル YAMADA AIR BASE

印刷・製本：ねこのしっぽ 様

連絡先：coop_sb_5@hotmail.co.jp

twitter：_ZAW_

※この作品はフィクションです。実在の団体・人物・事件・地名等には一切関係はありません。
※本書の一部、または全部を無断でweb上にアップロードすることはおやめください。

WARNING:

- The producer of this book has not permitted following,
- Reproduction of this book.
- Making of all means of copies of this book.
- Resale of this book.
- This book is done in the scanning and uproad to the Wired network.

The producer of this book prohibits sharing the book by Wired network and the resale.

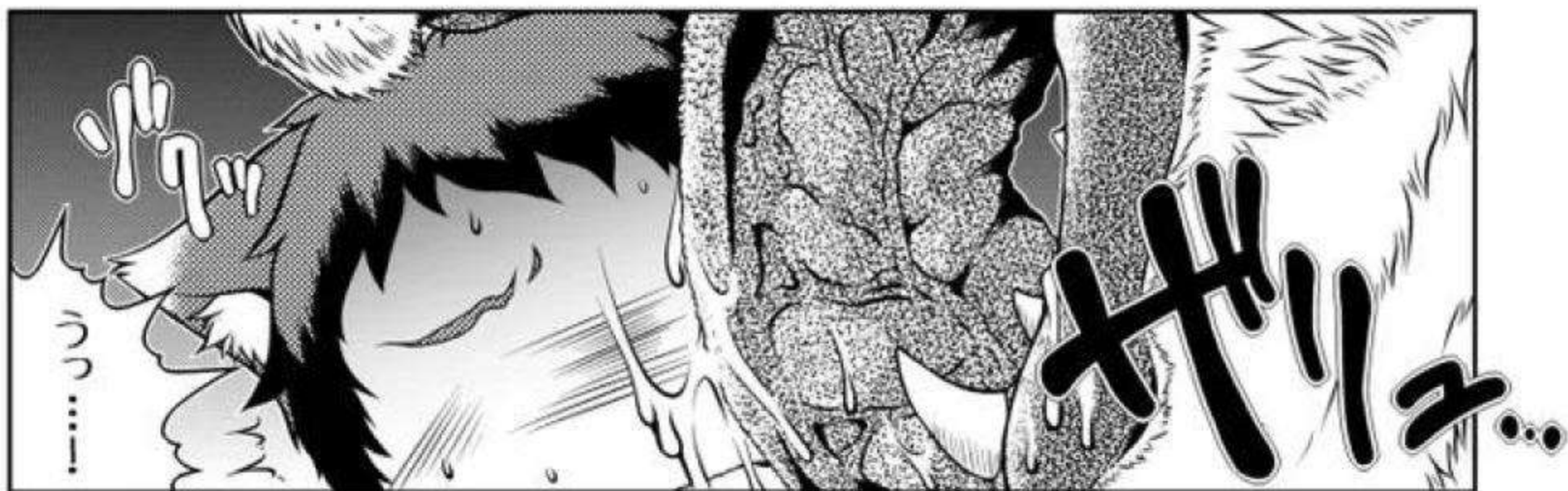
DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

オニオキ

妖狐変化大狐藍様丸呑みおまけ本

オニオキ





ひうっ

潰れる

びしょ

